

下宮木町

下宮木町

万願寺川中流域右岸に広がる田園地帯にあり、中世には「宮木河原」と呼ばれていました。秀吉の播磨攻めで三木城が落城後、支城である志方城の武将だった澤下宇右門が一族を率いて、鶉野台地の一部とこの地に移り住み開拓が始まったようです。

戦時中の鶉野飛行場建設のため鶉野台地から強制疎開で下宮木村町の南北に移住された方も多く、現在では下宮木村町との境界が入り組んでいます。

町名を昭和 55 年に下宮木西町から下宮木町に改名されました。

43 大歳神社 安養寺

43 大歳神社 下宮木町

丸中製菓近くにあり、乎疑原神社の分社で下宮木町の氏神さまです。土俵も整備され、秋祭りには子供相撲が奉納されます。



安養寺 下宮木町

大歳神社の近くにある浄土真宗本願寺派のお寺で、阿弥陀如来立像がご本尊です。古い涅槃図もあります。

